

DAAS 総会開催のご挨拶

第5期(2010～2011年度)総会にあたり一言ご挨拶申し上げます。

DAASも開設以来4年を経過し、5年目を迎えますが、第4期の事業報告書にありますように収蔵点数の充実化を始めとして、様々な関連事業を進められている事を大変心強く思っております。

一方、現在日本では、主として近代以降の日本の建築家の作品を中心とした建築アーカイヴが、様々なかたちで設立の動きの多い事も御存知の方もいらっしゃると思います。ここでは模型のほか、スケッチ、設計図書が保存から蒐集の対象になって居りますが、歴大な設計図書のデジタル化の必要性が問われ、その方向へ向けての整備も進んでいるようです。このような状況の中で今後、DAASがこうした他のアーカイヴとどのようにnetworkを築いていくか、その中でのDAASの役割は何かということも現実の問題としていずれ考えていかなければならない時期に来ていると思われまます。

既に、以前のご挨拶でも触れましたように、UIA大会も1年後に迫っております。もし他の国から日本のこうしたデジタルサービスに同様な関心と実践を持たれる方が参加されることがあれば、活発に意見を交換し、将来DAASの事業の国際化へ繋げていく為の第一歩を踏み出すよい機会になるのではないかと考えています。

ともあれDAASの今後の活動に対し、皆様の更なる御支援を賜れば有り難く存じます。

榎 文彦